



お寄せいただいた  
声にお答えします

まちづくり政策課広報広聴係  
TEL:576-2112/ FAX:576-2519  
Eメール:mati@urahoro.jp  
ホームページ: http://www.urahoro.jp/

## ■浦幌パークゴルフ場の管理について。(60代・女性)

利用者の利便、使いやすいものに対する対応できないのはなぜですか？  
経費の面？怠慢？小さいことのひとはホール付近の芝の改善をお願いします。

### ■お答えします

常日頃より浦幌パークゴルフ場をご利用いただきありがとうございます。

この度ご指摘いただきました浦幌パークゴルフ場の管理について、大変不愉快な思いをさせていただきましたことに対し、お詫び申し上げます。毎年、利用者の方々に少しでも満足いただけるよう開場期間を早めたり、また雨天時についてはポンプアップで水没周辺の改善等に努め迅速に

対応してありましたが、ご利用いただいている方々に対して、まだまだご満足いただけられない状況でございます。

今回いただきましたご意見を謙虚に受け止め、利用者への接遇につきましては適切かつ丁寧に対応し、苦情に対しましては迅速かつ適切に対応するよう指定管理者へ注意を促してまいります。

また、ホール付近芝の改善につきましては、周辺半径3・5メートルを目安に草刈りを行うよう改善に努めてまいります。

今後とも、多くの方にご利用いただけますようパークゴルフ場管理の向上について、ご意見を賜りますようお願いいたします。

(教育委員会社会体育係)



浦幌パークゴルフ場。

こうていえき

# 口蹄疫緊急防疫対策を実施します！

4月20日、宮崎県において口蹄疫疑似患畜の発生が確認され、県内で感染が拡大している状況となっています。道内への口蹄疫などの伝染病侵入防止を図るために、北海道では6月の補正予算により「口蹄疫緊急防疫対策（農家段階での侵入防止対策）事業」を実施することになりました。

事業の内容は、浦幌町家畜伝染病自衛防疫推進協議会が事業主体となって偶蹄類家畜飼養農家125戸に対して消石灰(140キロ)を配布するものです。

写真のとおり、各飼養者は自宅や畜舎への取り付け道路や畜舎の周りに消石灰を散布しています。

住民の皆さまにおかれましては、引き続き口蹄疫侵入防止に対しご理解とご協力をお願いします。



消石灰の散布作業をする模範牧場職員。

- ◇畜産農場へは必要がない限り立ち入らない
- ◇各施設で行われている消毒への協力

※口蹄疫は偶蹄類(牛・豚・羊など)の病気であり、人には感染しません。

園役場産業課畜産係 (Tel 576 - 2181)

# うらほろレポート

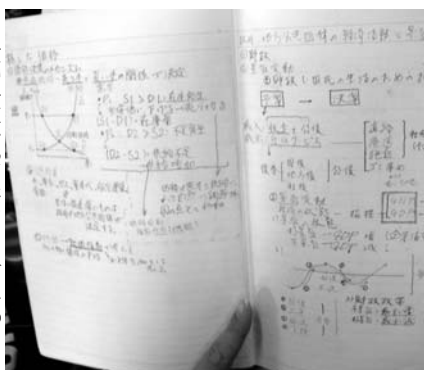
NPO日本のうらほろに協力させていただいている明治大学商学部商学科水野勝之ゼミナール北海道班です！中学生の提言が浦幌町にどのように生かされているかをお伝えします。



## 明治大学水野ゼミナール

写真前列左から佐藤奈々子（東京都出身）、西川純平（鹿児島県出身）  
写真後列左から内田莉菜（埼玉県出身）、関頼子（栃木県出身）、西富友輝（鳥取県出身）

▶事前事業で学んだことがきっちり書かれたノート。



**今** 回は前回に引き続き、浦幌中学校の第3学年の総合学習についてのお話です。第3学年の総合学習は、「起業」をテーマとしています。この総合学習に先だつて行われた、マーケティングに関する事前授業の内容についてご紹介します。

マーケティングに関する事前授業とは、各企業が事業計画を作成するために必要なマーケティングの基礎知識を身につけることを目的とした授業です。この授業は、社会科の授業として行われました。10月23日の授業で各班にアドバイスをしてまわっている時に、ある生徒に事前授業のノートを見せてもらいました。

その内容というのが、現在大学で私たちが学んでいるような専門用語やマーケティングの論理を含むもので、市場での価格決定メカニズムや市場チャネルなどの解説が書かれています。私たちは大

## 中学生の提案（昨年度）

Part.2

取材＆文・明治大学水野ゼミナール

学で初めて学んだことであつて、中学生の頃にはこの様なことは教えてもらえませんでした。私たち商学部の学生でも知識としてきちんと身に付いている人がどれだけのいるだろうか、という程の内容でした。



まだまだ計画の初期段階で悪戦苦闘しているグループも多い中、私たちの今までの経験と知識で、できる限りのアドバイスをさせてもらいました。しかし実際のところ、中学生の手助けをするつもりが、むしろ私たち自身の勉強になることが多く、とても刺激を与えられた経験となりました。

**授** 業後には、総合学習の授業で町おこしをする事になったきっかけについても先生方からお聞きすることができました。ある先生の

一言から始まったそうです。その一言とは、「総合で町おこしやらない？」というなんともしンプルでありふれた言葉でした。一人の先生のそんな一言が、現在では町全体で取り組むプロジェクトに発展しているのです。私たちはこのお話を伺った際、なんととも言えない感慨深い面持ちになりました。

中学生が当時行っていた活動については、第3学年の総合の授業計画を見せていただきながら経過や進行状況を教えていただきました。その後、私たちがどのように総合の授業に協力させていただけるかを先生方と話し合いました。話し合いで、市場調査への協力の依頼をいただきました。その依頼の内容とは……？  
次回は私たちが先生方からいただいた依頼の内容についてご紹介します！次回も宜しくお願ひします。